

## ベネッセコーポレーションの 測定ツールは、さらに進化します。

ベネッセコーポレーションの測定ツールは、単に「高校生のための学びの基礎診断」の認定基準に「対応する」わけではありません。これまで同様、学校の教科指導・進路指導でご活用いただける部分は変わらず、より一層「学校・先生の指導改善や生徒の学習改善にお役立ていただけるアセスメントとは？」を検討し、思考力・判断力・表現力や英語4技能の測定・育成について具体化をしていきたいと考えています。

## ベネッセコーポレーションの 測定ツールご案内

# 申請にあたり ベネッセが大切にしている3つのこと

これまでも、そしてこれからも変わらず「大切にしたい3つのこと」を今回「高校生のための学びの基礎診断」へ申請した測定ツールに込めて、学校現場でのPDCAサイクルの推進に、お役立ていただけるよう、さらなる改善と強化を進めてまいります。

1

## 出題の質の高さ

学力の3要素に沿って「身につけさせたい力」を測定できる問題を出題します。

長年の出題ノウハウと教育改革・大学入試改革に向けた先行研究、事業受託から、学習指導要領が定める要求学力に対応します。

2

## 活用度の高さ

年間延べ約1,000万人が受検。進路指導・教科指導で活用いただいています。

「高校生の学びの基礎診断」を通じて、現在の学校での取り組みをさらに発展させることができます。

3

## 指標の確かさ

出題の質と受検者の膨大なデータが担保する確かな指標を提供します。

学校の「目標設定」の定量化や「成果」の可視化(客観化)がしやすい測定ツールをめざします。

## 全国の学校と向き合う、ベネッセの担当者がいます

### 全都道府県の担当者が地域に密着

全国9拠点を置き、地域に密着しながら活動をしています。それぞれの学校が、地域社会で期待されていること、その拠って立つ基盤をしっかりと理解したうえで、学校の運営、教育活動に寄り添います。

### 地域の教育力、学校教育力の向上

学校という場を通じて「人」が育つ。私たちは、生徒の成長だけでなく、それを支える先生方や学校組織としての成長、発展を願い、ご支援していきたいと考えています。その持続的発展に向けて、「学校を内から元気にする」が私たちの合言葉です。

### 生徒一人ひとりの成長を考える

先生と対話するときは「生徒」を主語にする。私たちが大事にしていることの一つです。生徒が自身の資質・能力に気づき、開花させるお手伝いをする。生徒の多面的把握を支える多くのテスト・教材をご活用いただいているからこそこの私たちの役割です。

### 学校と学校、先生と先生をつなぐ

全国で頑張っている学校、先生方のお取り組みを事例でつなぐ。私たちが研究会や日々の情報提供で大切にしていることです。「教育・入試改革に向けた現場の実践を支援する」。旬な事例をお届けし、先生方のご指導を後押しします。

## ■平成30年度「高校生のための学びの基礎診断」への申請測定ツール一覧

測定ツールの名称	対象教科	標準タイプ 基本タイプ	主な特長
ベネッセ総合学力テスト	国 数 英	標準	授業内容の定着度把握を目的として、履修進度に沿った出題をしています。これにより、履修内容に合った弁別性の高い問題で学力の定着度確認と苦手分野の把握を客観的に把握することができます。
スタディーサポート αタイプ、βタイプ、θタイプ	国 数 英	標準	基礎学力の到達状況とその状況に基づいた個別の学習課題を結果として提供するとともに、課題克服に向けた教材や学習アドバイスを提供することで、受検結果を次の学習改善につなげます。
<b>NEW</b> スタディープログラム	国 数 英	標準	基礎学力の定着を目的として、日常的な学習習慣づくりと学習意欲の喚起を支援する学習・指導ツールと診断ツールを一体的に提供します。良質な問題と教科系統表に基づき設計したPDCAツールです。
進路マップ 実力診断テスト	国 数 英	標準	基礎学力の定着度・学習習慣の状況を定期的に測定することで、学校としての指導改善、生徒の学習改善・基礎学力向上・学習意欲の向上に役立てていただくことを目的としています。
進路マップ 基礎力診断テスト	国 数 英	基本	義務教育範囲から高校履修範囲までの基礎学力の定着度・学習習慣の状況を定期的に測定することで、学校としての指導改善、生徒の学習改善・学習意欲向上・基礎学力向上に役立てていただくことを目的としています。
Literas 論理言語力検定※ 2級	国	標準	国語をベースとしながら、実生活で生きて働き、各教科の学習の基本となる言語能力を、育成・測定します。特に国語の「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に関する資質・能力の育成とその測定ツールとして活用できます。
Literas 論理言語力検定※ 3級	国	基本	
<b>NEW</b> ベネッセ数学理解力検定	数	標準	数学の授業内容の理解度把握を目的として、学校の履修進度に沿った出題をしています。これにより、各学校の履修内容に合わせた数学の理解度・定着度を、スコアとグレードで確認できます。
GTEC Advancedタイプ・Basicタイプ	英	標準	実際の言語使用場面を前提とし、英語コミュニケーション能力を測定することを目的としたスコア型4技能検定です。授業で学んだ英語を「実際に使う」手ごたえを感じられる日本の中高生に適した出題です。
GTEC Coreタイプ	英	基本	

「GTEC」は、株式会社ベネッセコーポレーションの登録商標です。

※『語彙・読解力検定』の後継検定

## ■ベネッセが考える民間測定ツールの役割

「高校生のための学びの基礎診断」の目的は、カリキュラム・マネジメントの概念のもと、各学校が掲げる「育てたい人材像＝学校教育目標」の実現に向けて、日々の授業を中心とする学校の教育活動の成果を可視化したり、改善していくことである、と私たちは捉えています。民間測定ツールの役割は、特に「客観性」の観点から、その活動に寄り添い、支える指針となることであると考えています。

### 【目標設定支援】

学校

育てたい人材像、学校教育目標  
各教科目標の言語化&定量化

教育  
委員会

都道府県全体での共通指標づくりの支援  
例)学力スタンダードや指導の手引きの作成

### 【授業改善支援】

学校

教科の目標に応じた検証と改善  
授業を中心とした活動への落とし込み

教育  
委員会

指導主事先生等による助言  
成功モデルの共有→新事業化へ

#### 役割①「客観性の担保」

- 学校・教育委員会の共通指標が作りやすくなる
- 目標と現状、そのギャップの可視化と客観化

#### 役割②「Actionの促進」

- 成果と課題を共有しやすくなる
- 課題が共有できると、教科間や分掌間で先生方の協働が生まれる

良質な問題と教科系統表に基づき設計した PDCA ツール

## 「スタディープログラム」新登場

2019年度より提供予定

ベネッセコーポレーションでは、新しいサービスとして、「スタディープログラム」を2019年度より提供します。「スタディープログラム」は、国語・数学・英語の基礎学力定着を目的とした教材で、これまでのアセスメント出題で培った良質な問題コンテンツ、アセスメントの統計データをもとに開発した教科系統表に基づいて設計した学習ツールと測定ツールを一体的に提供します。「日常的な学習習慣をつけさせたい」「できることを積み上げて学習意欲を喚起させたい」というご指導課題の解決にご活用いただけるサービスをめざして提供してまいります。

対象	高校1・2年生
学習ツール	・学習教材（国語、数学、英語） ・学習動画（国語、数学、英語）
測定ツール	・第1回（3-5月） ・第2回（8-10月） ・第3回（12-1月） 国語、数学、英語（各教科50分） 学習状況調査（約15分程度） <small>※選択式問題と記述式問題を出題します ※英語 Speaking を学校内で実施いただける資料を提供します</small>
価格（ご請求額）	6,000円/年間（消費税等込み） <small>※年間3回までの測定ツール受検を含みます</small>

小さな一歩から“毎日の授業がわかる”を支援します



授業・学習指導のPDCAと  
生徒個人の効率的な学習をサポートします